

新駅ビルを情報拠点に

3月3日に開業するJR新博多駅ビルに飲食店2店を出店する。「全国から多種多様な消費者が集まるだろう」。期待するのは、アンテナショップとしての役割だ。

ひと

最上階に構えるのが、東京の有名シェフを企画・監修に迎えたイタリア料理店「ザッコ アルポルト」。客が好きな魚と調理法を選べるオーダーメニューを設けるなど、魚介類を主役にしたスタ

庄屋フードシステム社長 中村 信機氏

イルが特長だ。「うまくいけば他店舗にも導入したい」。地下街に入居した自社の急成長ブランドの定食店「百菜」は、和食中心のメニューで持ち



帰りもできる。

40年前に長崎県の旧江迎町（現佐世保市）で創業し、今や西日本全域に飲食店97店を展開。「新駅ビル進出を、さらなる発展の起爆剤にしたい」